

出町茶論だより

でまち さろん

No. 61

出町茶論の活動を皆さまにお知らせするために、「出町茶論だより」を月1回発行してきましたが、特に力を入れてきた地域交流がコロナ禍により大幅な縮小を余儀なくされたため、当面の間、発行期間を2か月に1回とさせていただきます。ご利用者の皆様にも楽しんでいただいています地域交流は、コロナ禍が収まれば、また復活致しますので、どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

核家族化が進み、子供たちがお年寄りと接する機会が少なくなりました。出町茶論では、今までにも、多世代の交流を行ってきましたが、違う世代がお互いを理解し合う大切さを知ってもらうための活動を、これからも進めて行きたいと思っております。

★今までの交流



幼稚園児との交流



大学院生との交流



アメリカの大学生との交流

新しい社会交流

人が出会っての交流は今では難しい状況ですが、地元京極小学校4年生とZoom交流を行いました。子供たちからお年寄り（今回はあえてこの名称を使います）に、質問し、出町茶論のご利用者が回答するというシチュエーションです。

- 質問は、
- ①困っていることや大変なことは何ですか？
 - ②私たちに手伝えることはありますか？
 - ③思い荷物はどうしていますか？
 - ④毎日、楽しいですか？
 - ⑤家でどのように過ごしていますか？

これらの質問から自分たちで何ができるのか？考えてみようという内容です。



得意の卓球をもう一度



若い時、元気な時にこんなことをしていたと、ご利用者からお聞きすることがあります。その一つに卓球があります。驚いたことに、何人かの方が、得意とするスポーツと分かりました。

そこで、本式の卓球台は用意

できませんが、コンパクト卓球台を用意しました。職員の山なりのラリーに比べての、ご利用者同士の水平ラリー！さすがでした。得意なこと、できることをもう一度、見つけたいと思います。



ウクレレ演奏

今はちょっと無理でも、得意としたウクレレをもう一度思い出してもらおうと、ウクレレ演奏を行いました。

ボランティアでウクレレ演奏をしている出町茶論の知り合いの皆さんに来ていただき、ハワイアン～懐かしの曲を演奏してもらいました。ウクレレはムード歌謡などで、使われていた楽器なので、皆さん懐かしく聞いて頂きました。



ご利用者の皆さんも、子供たちの質問に真剣に答え、子供たちにも問いかけるなど、新しい世代間交流として大切な時間を過ごす事ができました。

◆どうぞご利用のお問い合わせ下さい◆

出町茶論(でまちさろん)

☎075-204-4716

京都市上京区寺町通今出川上る表町21 市川ビル

<https://demachi-salon.site/>

